

富良野市

子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査

追加集計結果

令和元年6月

富良野市

目 次

I	追加集計結果	1
1	就学前児童	1
	(1) 低学年時に放課後を過ごさせたい場所	1
	(2) 高学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所	3
	(3) 子育てに関して不安感や負担感を感じることもあるか	5
	(4) 子育てに関して日頃悩んでいること、気になること	6
	(5) 市が重点的に取り組む必要性が高い施策	9
	(6) 子育ての環境や支援への満足度	12
2	就学児童	13
	(1) 市が重点的に取り組む必要性が高い施策	13
	(2) 子育てに関して不安感や負担感を感じることもあるか	16
	(3) 子どもを育てていく上での困りごと	17
	(4) 子育ての環境や支援への満足度	19

I 追加集計結果

1 就学前児童

(1) 低学年時に放課後を過ごさせたい場所

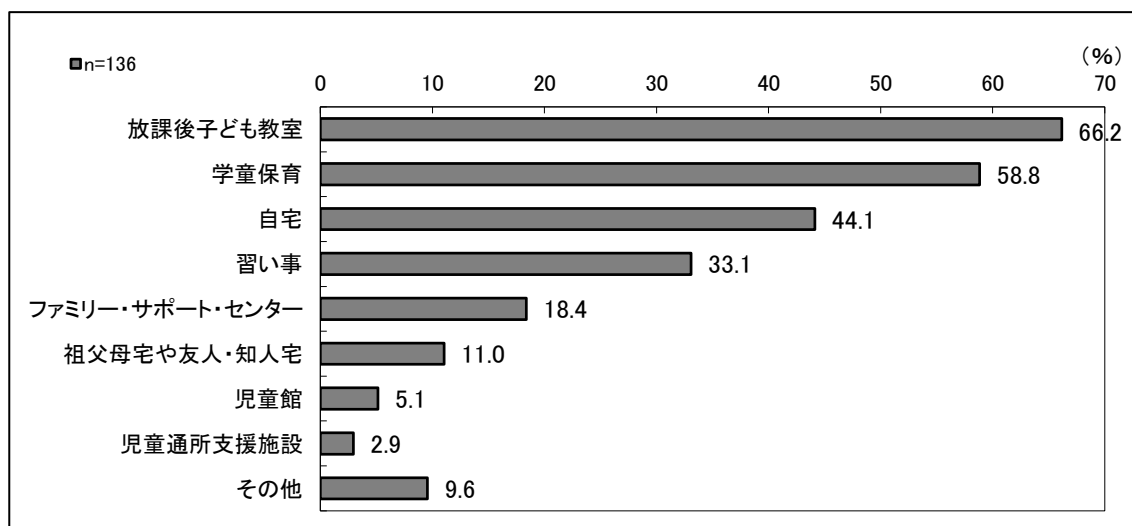
問 27 宛名のお子さんが5歳以上である方にかがいます。宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育（放課後児童クラブ）」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

- 「放課後子ども教室」が第1位。市街地では第3位に「自宅」となっているが、その他の地区では上位3項目に入っていない。

高学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所についてたずねたところ、「放課後子ども教室」(66.2%)が最も多く、次いで「学童保育」(58.8%)、「自宅」(44.1%)、「習い事」(33.1%)、「ファミリー・サポート・センター」(18.4%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(11.0%)、「児童館」(5.1%)、「児童通所支援施設」(2.9%)、「その他」(9.6%)となっている。

居住地区でみると、「放課後子ども教室」はいずれも第1位となっている。市街地では「自宅」が第3位となっているのに対し、その他の地区では「自宅」が上位3項目に貼っていない。

図表 低学年時に放課後を過ごさせたい場所（全体／複数回答）



図表 低学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所
 (全体・居住地区—上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		放課後子ども教室 66.2	学童保育 58.8	自宅 44.1
居住地区	市街地	放課後子ども教室 65.8	学童保育 60.0	自宅 47.5
	山部	放課後子ども教室／ファミリー・サポート・センター 50.0		学童保育 25.0
	麓郷	放課後子ども教室 66.7	学童保育 55.6	ファミリー・サポート・センター 44.4
	東山	習い事／放課後子ども教室／ファミリー・サポート・センター 100.0		

(2) 高学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所

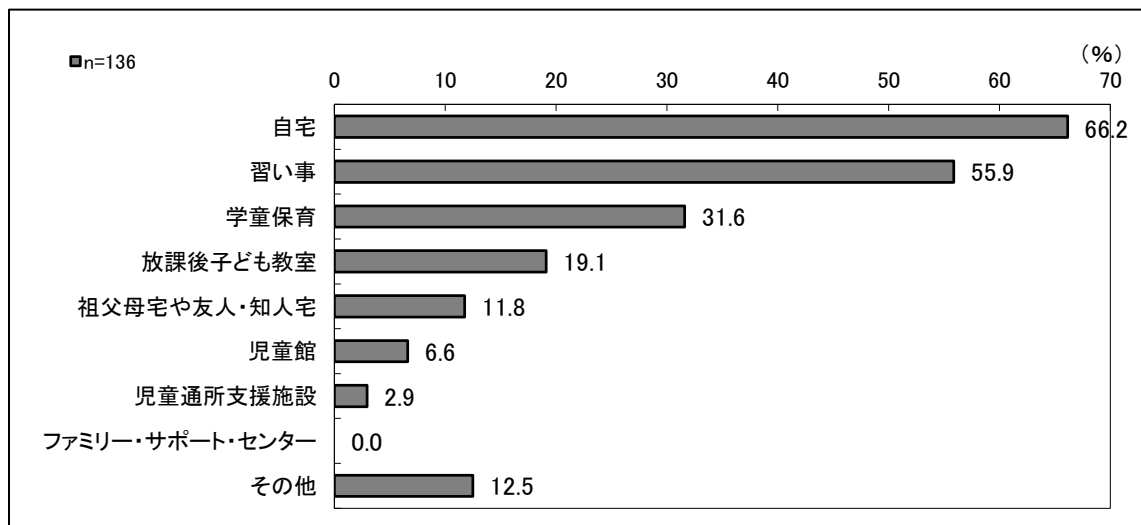
問 28 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育（放課後児童クラブ）」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

- 「自宅」が第1位。山部と東山では「放課後子ども教室」が第1位となっている。

高学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所についてたずねたところ、「自宅」(66.2%)が最も多く、次いで「習い事」(55.9%)、「学童保育」(31.6%)、「放課後子ども教室」(19.1%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(11.8%)、「児童館」(6.6%)、「児童通所支援施設」(2.9%)、「その他」(12.5%)となっている。

居住地区でみると、市街地と麓郷では、「自宅」が第1位となっているのに対し、山部では「放課後子ども教室」、東山では「習い事」と「放課後子ども教室」が第1位となっている。

図表 高学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所（全体／複数回答）



図表 高学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所
 (全体・居住地区—上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		自宅 66.2	習い事 55.9	学童保育 31.6
居住地区	市街地	自宅 69.2	習い事 57.5	学童保育 30.8
	山部	放課後子ども教室 50.0	習い事／学童保育 25.0	
	麓郷	自宅 66.7	習い事 44.4	学童保育 33.3
	東山	習い事／放課後子ども教室 100.0		

(3) 子育てに関して不安感や負担感を感じることもあるか

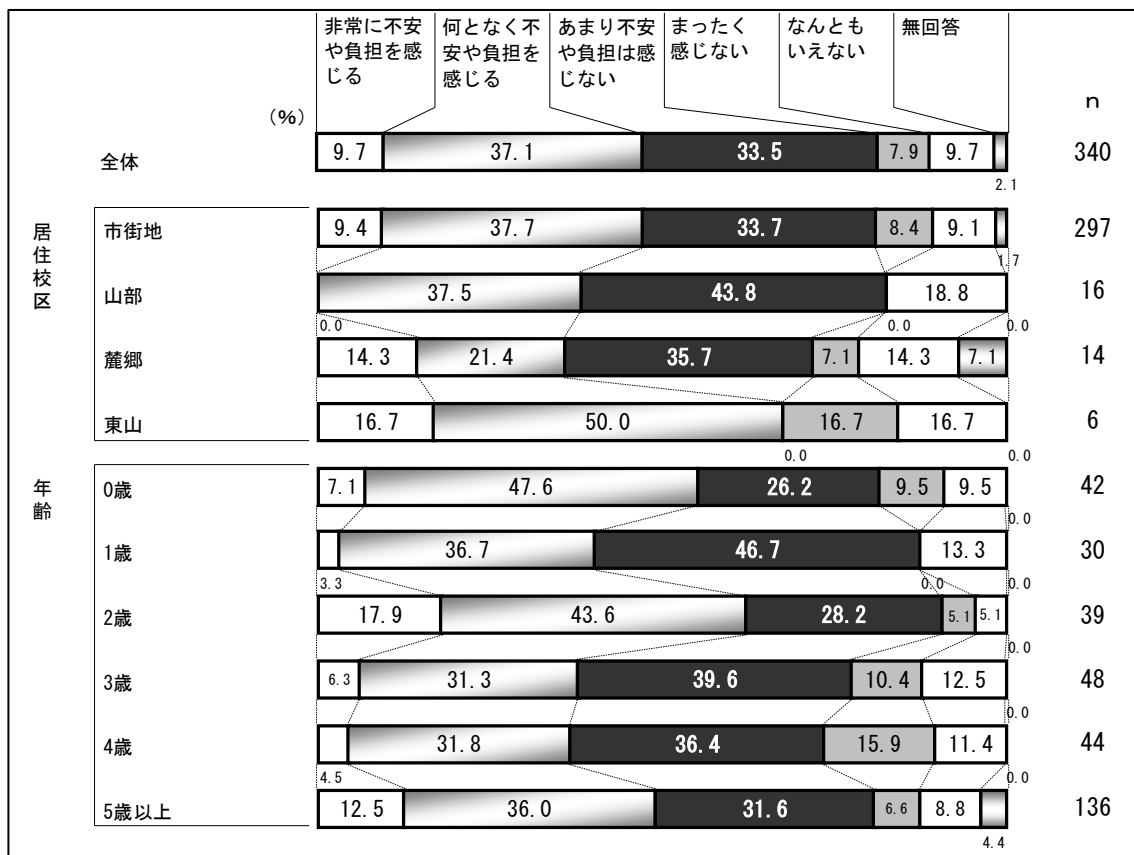
問 32 子育てに関して不安感や負担感を感じることはありませんか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- “感じる”が“感じない”を上回る。子どもの年齢では0歳と2歳で特に“感じる”の割合が高くなっている。

子育てに関して不安感や負担感を感じることもあるかたずねたところ、「非常に不安や負担を感じる」(9.7%)と「何となく不安や負担を感じる」(37.1%)を合わせた“感じる”が46.8%、「あまり不安や負担は感じない」(5.9%)と「まったく感じない」(7.9%)を合わせた“感じない”が41.4%となっている。なお、「なんともいえない」は9.7%となっている。

年齢で見ると、0歳と2歳では、“感じる”がそれぞれ54.7%、61.5%となっており、他の年齢に比べて高くなっている。

図表 子育てに関して不安感や負担感を感じることもあるか



(4) 子育てに関して日頃悩んでいること、気になること

問 33 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまるもの5つまで○をつけてください。

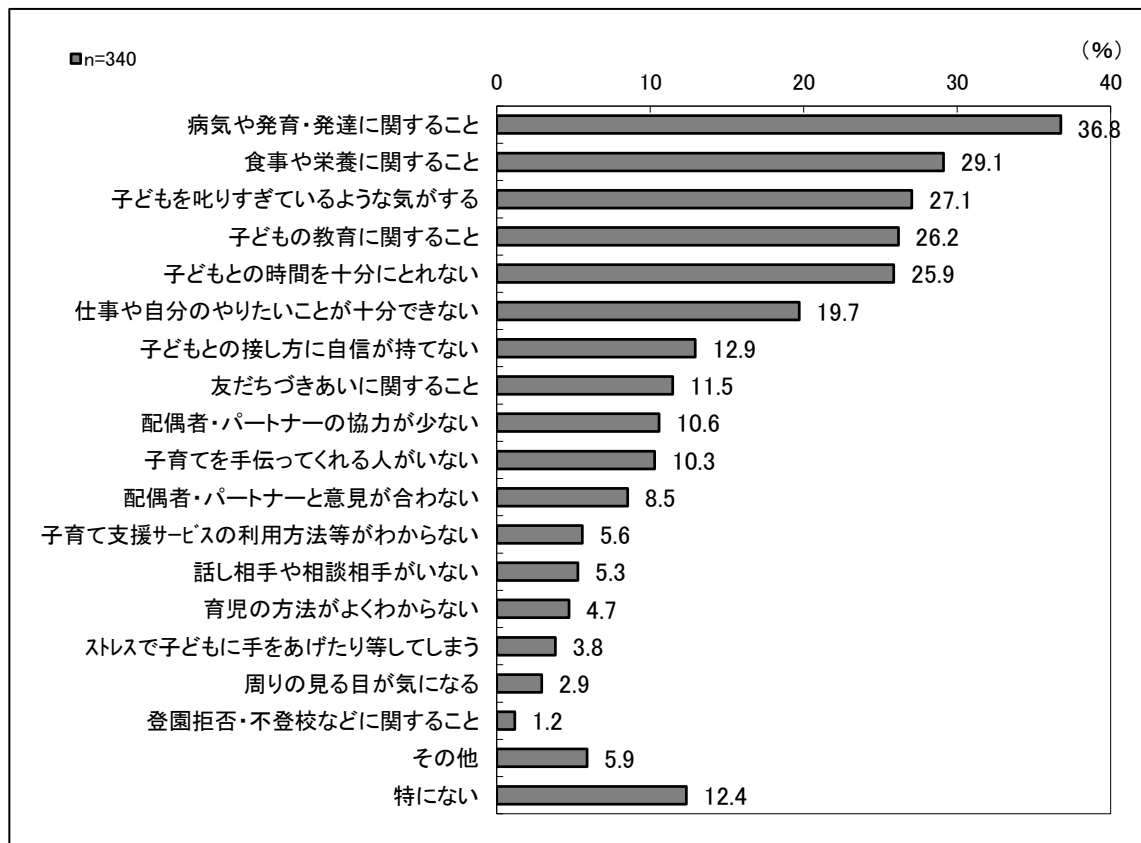
- 「病気や発育・発達に関すること」が第1位。年齢で見ると、1歳では「食事や栄養に関すること」、3歳では「子どもを叱りすぎているような気がする」、5歳以上では「子どもの教育に関すること」が第1位となっている。

子育てに関して日頃悩んでいること、気になることについてたずねたところ、「病気や発育・発達に関すること」(36.8%)が最も多く、次いで「食事や栄養に関すること」(29.1%)、「子どもを叱りすぎているような気がする」(27.1%)、「子どもの教育に関すること」(26.2%)、「子どもとの時間を十分にとれない」(25.9%)、「仕事や自分のやりたいことが十分できない」(19.7%)、「子どもとの接し方に自信が持てない」(12.9%)、「友だちづきあいに関すること」(11.5%)、「配偶者・パートナーの協力が少ない」(10.6%)、「子育てを手伝ってくれる人がいない」(10.3%)、「配偶者・パートナーと意見が合わない」(8.5%)、「子育て支援サービスの利用方法等がわからない」(5.6%)、「話し相手や相談相手がない」(5.3%)、「育児の方法がよくわからない」(4.7%)、「ストレスで子どもに手をあげたり等してしまう」(3.8%)、「周りの見目が気になる」(2.9%)、「登園拒否・不登校などに関すること」(1.2%)、「その他」(5.9%)となっている。

なお、「特にない」は12.4%となっている。

年齢で見ると、1歳では「食事や栄養に関すること」、3歳では「子どもを叱りすぎているような気がする」、5歳以上では「子どもの教育に関すること」が第1位となっている。

図表 子育てに関して日頃悩んでいること、気になること（全体／複数回答）



図表 子育てに関して日頃悩んでいること、気になること
 (全体・年齢—上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		病気や発育・発達に関すること 36.8	食事や栄養に関すること 29.1	子どもを叱りすぎているような気がする 27.1
年齢	0歳	病気や発育・発達に関すること 57.1	食事や栄養に関すること 52.4	子育て支援サービスの利用方法等がわからない 21.4
	1歳	食事や栄養に関すること 50.0	病気や発育・発達に関すること 46.7	子どもの教育に関すること 36.7
	2歳	子どもを叱りすぎているような気がする 33.3	病気や発育・発達に関すること／食事や栄養に関すること／仕事や自分のやりたいことが十分できない 30.8	
	3歳	病気や発育・発達に関すること 35.4	食事や栄養に関すること 33.3	子どもとの時間を十分にとれない／子どもを叱りすぎているような気がする 29.2
	4歳	病気や発育・発達に関すること 43.2	子どもとの時間を十分にとれない 38.6	子どもを叱りすぎているような気がする 34.1
	5歳以上	子どもの教育に関すること 30.1	子どもを叱りすぎているような気がする 29.4	病気や発育・発達に関すること 28.7

(5) 市が重点的に取り組む必要性が高い施策

問 35 子育て支援の環境づくりに対する施策について、市が重点的に取り組む必要が高いと思われるものは何だと思えますか。あてはまるもの5つまで○をつけてください。

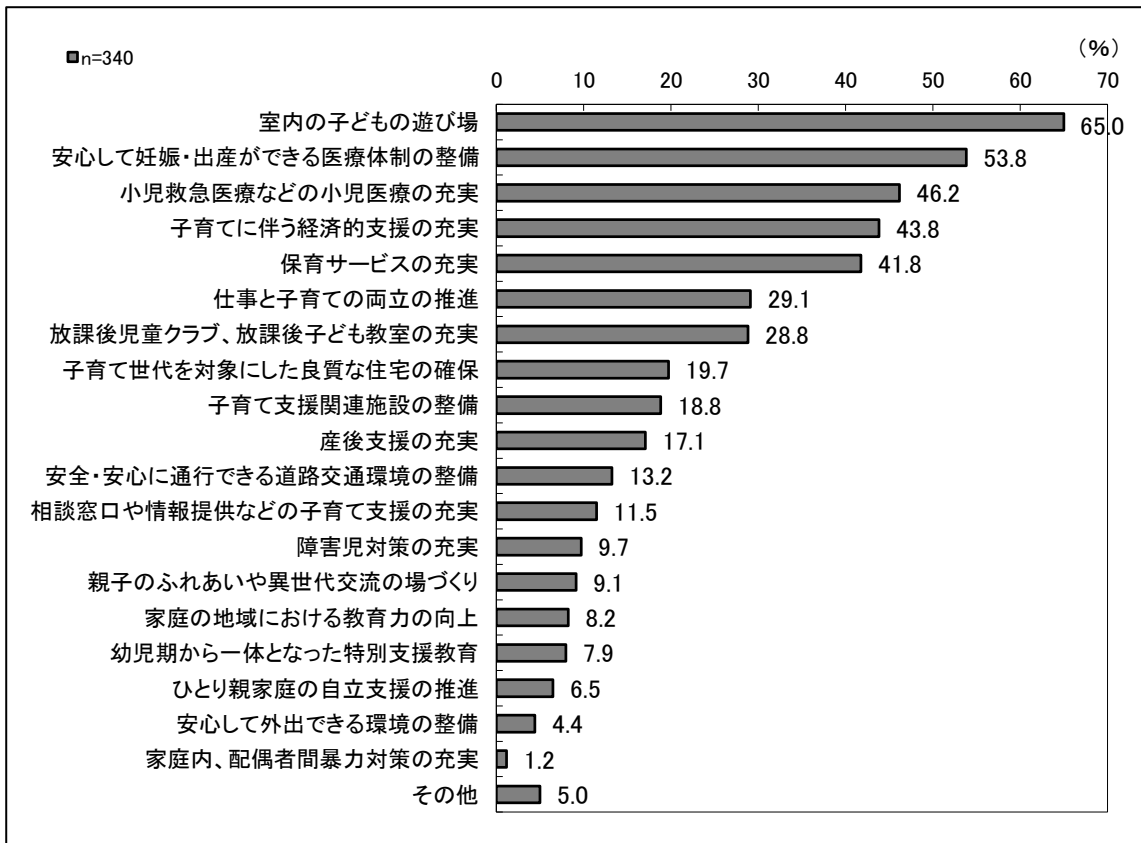
- 「室内の子どもの遊び場」が第1位。0歳では「子育てに伴う経済的支援の充実」、1歳では「安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備」が第1位。

市が重点的に取り組む必要性が高い施策についてたずねたところ、「室内の子どもの遊び場」(65.0%)が最も多く、次いで「安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備」(53.8%)、「小児救急医療などの小児医療の充実」(46.2%)、「子育てに伴う経済的支援の充実」(43.8%)、「保育サービスの充実」(41.8%)、「仕事と子育ての両立の推進」(29.1%)、「放課後児童クラブ、放課後子ども教室の充実」(28.8%)、「子育て世代を対象にした良質な住宅の確保」(19.7%)、「子育て支援関連施設の整備」(18.8%)、「産後支援の充実」(17.1%)、「安全・安心に通行できる道路交通環境の整備」(13.2%)、「相談窓口や情報提供などの子育て支援の充実」(11.5%)、「障害児対策の充実」(9.7%)、「親子のふれあいや異世代交流の場づくり」(9.1%)、「家庭の地域における教育力の向上」(8.2%)、「幼児期から一体となった特別支援教育」(7.9%)、「ひとり親家庭の自立支援の推進」(6.5%)、「安心して外出できる環境の整備」(4.4%)、「家庭内、配偶者間暴力対策の充実」(1.2%)、「その他」(5.0%)となっている。

居住地区でみると、山部と麓郷では、「安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備」が第1位となっている。

年齢でみると、2歳以降では「室内の子どもの遊び場」が第1位となっているが、0歳では「子育てに伴う経済的支援の充実」、1歳では「安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備」が第1位となっている。

図表 市が重点的に取り組む必要性が高い施策（全体／複数回答）



図表 市が重点的に取り組む必要性が高い施策
(全体・居住地区・年齢－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		室内の子どもの遊び場 65.0	安心して妊娠・出産が できる医療体制の整備 53.8	小児救急医療などの小 児医療の充実 46.2
居住 地区	市街地	室内の子どもの遊び場 66.0	安心して妊娠・出産が できる医療体制の整備 54.9	小児救急医療などの小 児医療の充実 47.5
	山部	安心して妊娠・出産が できる医療体制の整備／ 室内の子どもの遊び場 56.3	56.3	保育サービスの充実／ 小児救急医療などの小 児医療の充実 50.0
	麓郷	安心して妊娠・出産が できる医療体制の整備 57.1	室内の子どもの遊び場 50.0	産後支援の充実／子育 て支援関連施設の整備 35.7
	東山	室内の子どもの遊び場 83.3	保育サービスの充実 66.7	放課後児童クラブ、放 課後子ども教室の充実 ／安心して妊娠・出産 ができる医療体制の整 備 50.0
年 齢	0歳	子育てに伴う経済的支 援の充実 66.7	室内の子どもの遊び場 57.1	小児救急医療などの小 児医療の充実 50.0
	1歳	安心して妊娠・出産が できる医療体制の整備 76.7	室内の子どもの遊び場 66.7	小児救急医療などの小 児医療の充実 56.7
	2歳	室内の子どもの遊び場 74.4	保育サービスの充実 66.7	安心して妊娠・出産が できる医療体制の整備 61.5
	3歳	室内の子どもの遊び場 81.3	安心して妊娠・出産が できる医療体制の整備 66.7	子育てに伴う経済的支 援の充実 50.0
	4歳	室内の子どもの遊び場 70.5	小児救急医療などの小 児医療の充実 59.1	安心して妊娠・出産が できる医療体制の整備 56.8
	5歳以上	室内の子どもの遊び場 57.4	安心して妊娠・出産が できる医療体制の整備 44.1	放課後児童クラブ、放 課後子ども教室の充実 43.4

(6) 子育ての環境や支援への満足度

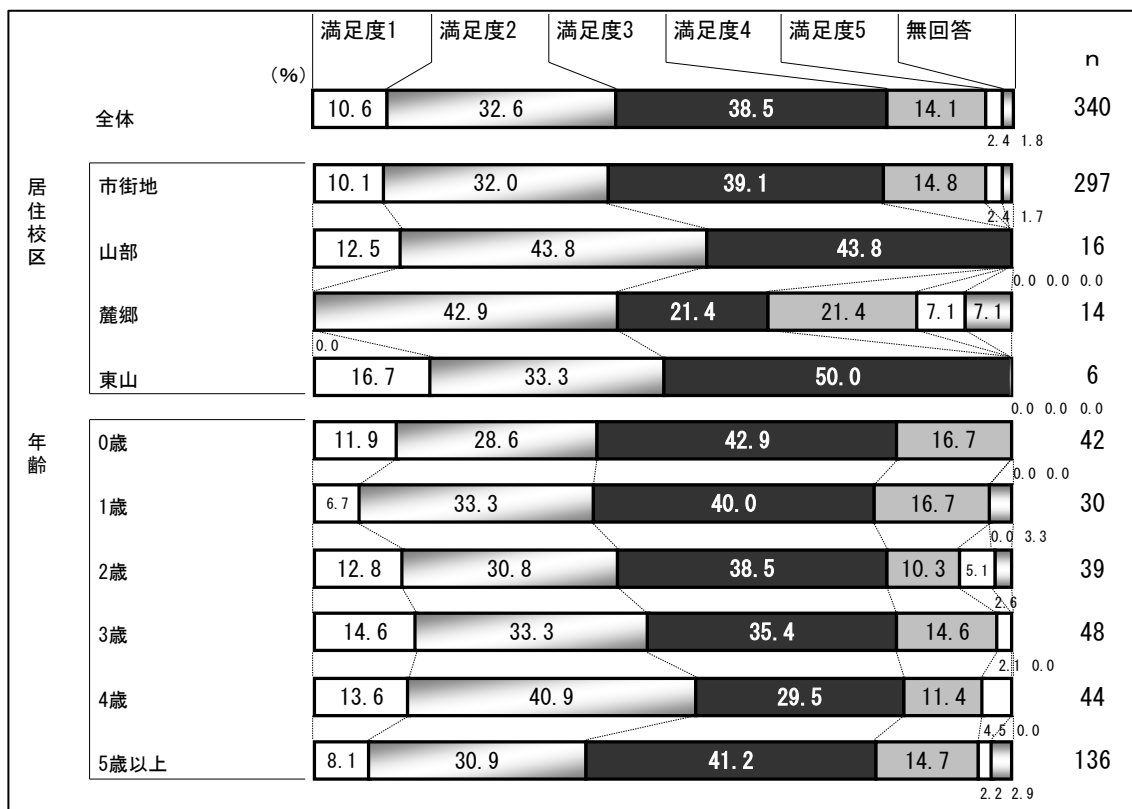
問 36 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 「満足度3」が4割弱を占める。“不満”は4割強、“満足”は2割弱を占める。

子育ての環境や支援への満足度については、「満足度3」が38.5%、「満足度2」が32.6%、「満足度4」が14.1%、「満足度1」が10.6%、「満足度5」が2.4%となっている。中央値である「満足度3」を下回っている「満足度1」と「満足度2」を合わせた“不満”は43.2%、「満足度3」を上回る「満足度4」と「満足度5」を合わせた“満足”は16.5%となっている。

年齢で見ると、4歳にかけて“不満”の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表 子育ての環境や支援への満足度



2 就学児童

(1) 市が重点的に取り組む必要性が高い施策

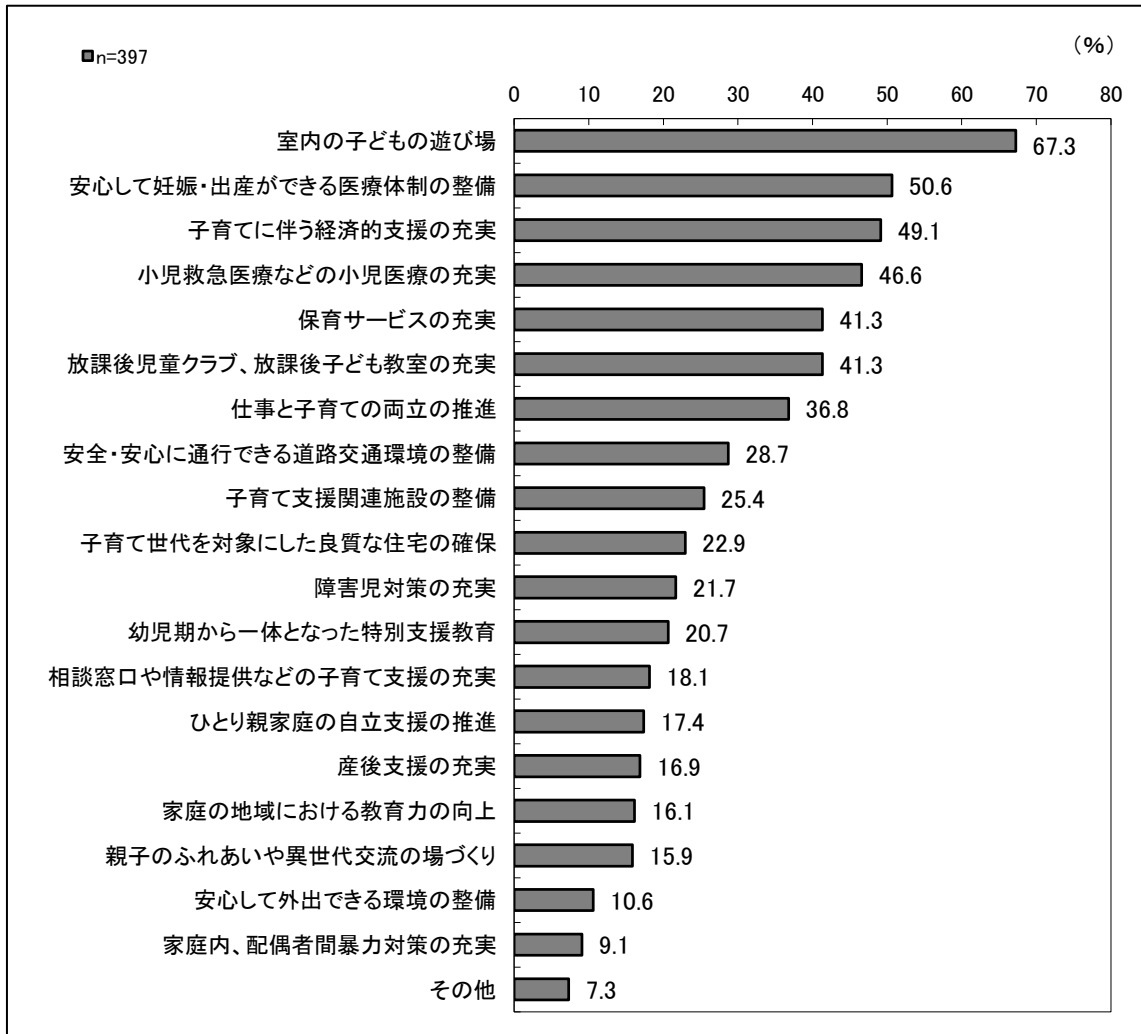
問 11 子育て支援の環境づくりに対する施策について、市が重点的に取り組む必要が高いと思われるものは何だと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 「放課後子ども教室」が第1位。市街地では第3位に「自宅」となっているが、その他の地区では上位3項目に入っていない。

市が重点的に取り組む必要性が高い施策についてたずねたところ、「室内の子どもの遊び場」(67.3%)が最も多く、次いで「安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備」(50.6%)、「子育てに伴う経済的支援の充実」(49.1%)、「小児救急医療などの小児医療の充実」(46.6%)、「保育サービスの充実」(41.3%)、「放課後児童クラブ、放課後子ども教室の充実」(41.3%)、「仕事と子育ての両立の推進」(36.8%)、「安全・安心に通行できる道路交通環境の整備」(28.7%)、「子育て支援関連施設の整備」(25.4%)、「子育て世代を対象にした良質な住宅の確保」(22.9%)、「障害児対策の充実」(21.7%)、「幼児期から一体となった特別支援教育」(20.7%)、「相談窓口や情報提供などの子育て支援の充実」(18.1%)、「ひとり親家庭の自立支援の推進」(17.4%)、「産後支援の充実」(16.9%)、「家庭の地域における教育力の向上」(16.1%)、「親子のふれあいや異世代交流の場づくり」(15.9%)、「安心して外出できる環境の整備」(10.6%)、「家庭内、配偶者間暴力対策の充実」(9.1%)となっている。

居住地区でみると、山部では「放課後児童クラブ、放課後子ども教室の充実」が第1位となっている。

図表 市が重点的に取り組む必要性が高い施策（全体／複数回答）



図表 市が重点的に取り組む必要性が高い施策
(全体・居住地区・学年－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		室内の子どもの遊び場 67.3	安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備 50.6	子育てに伴う経済的支援の充実 49.1
居住地区	市街地	室内の子どもの遊び場 68.9	子育てに伴う経済的支援の充実 51.0	安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備 50.1
	山部	放課後児童クラブ、放課後子ども教室の充実 76.9	小児救急医療などの小児医療の充実／安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備 53.8	
	麓郷	室内の子どもの遊び場 60.0	安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備 50.0	保育サービスの充実／放課後児童クラブ、放課後子ども教室の充実 40.0
	東山	保育サービスの充実／安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備／幼児期から一体となった特別支援教育／障害児対策の充実 66.7		
学年	1年生	室内の子どもの遊び場 82.0	安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備 54.0	小児救急医療などの小児医療の充実 50.0
	2年生	室内の子どもの遊び場 70.5	安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備 57.4	子育てに伴う経済的支援の充実 50.8
	3年生	室内の子どもの遊び場 72.3	安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備 51.1	放課後児童クラブ、放課後子ども教室の充実／子育てに伴う経済的支援の充実 46.8
	4年生	室内の子どもの遊び場 66.2	子育てに伴う経済的支援の充実 56.8	小児救急医療などの小児医療の充実 54.1
	5年生	室内の子どもの遊び場 59.0	子育てに伴う経済的支援の充実 44.6	安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備 43.4
	6年生	室内の子どもの遊び場 62.5	安心して妊娠・出産ができる医療体制の整備 51.3	子育てに伴う経済的支援の充実 47.5

(2) 子育てに関して不安感や負担感を感じることもあるか

問 12 子育てに関して不安や負担を感じることはありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

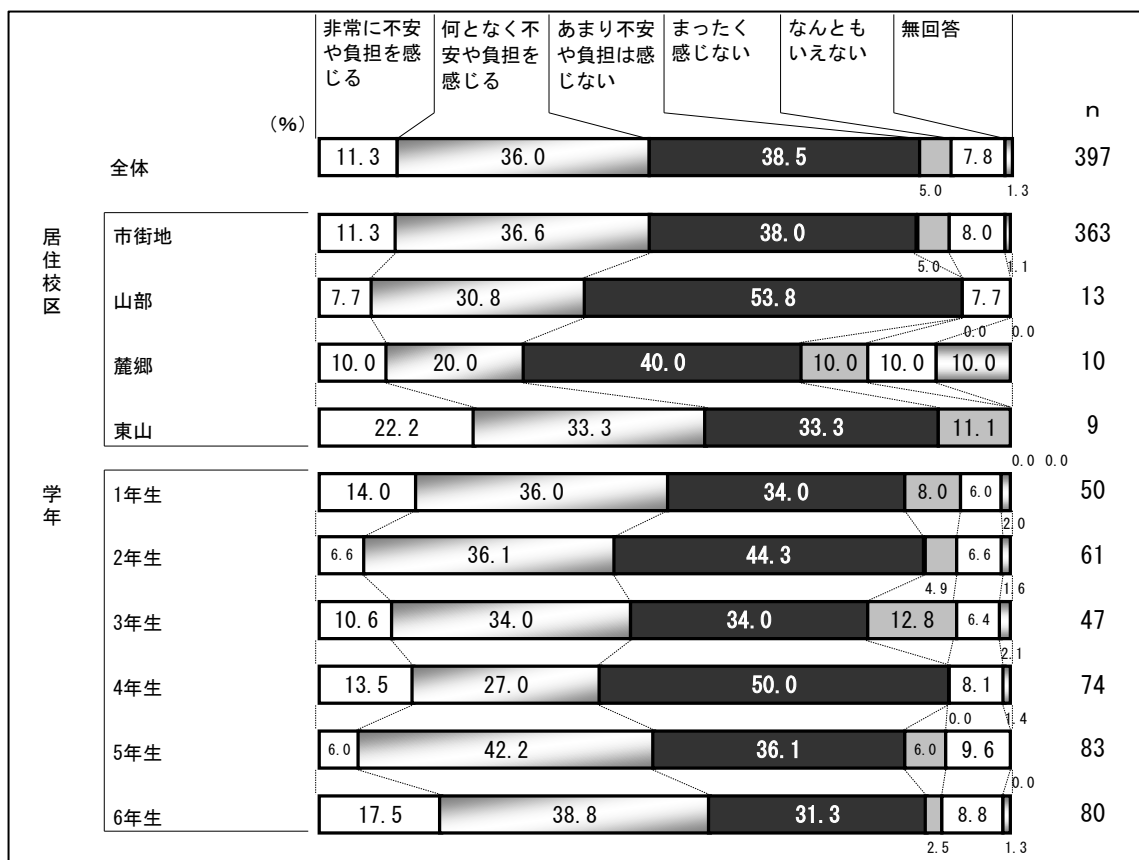
- “感じる”が“感じない”を上回る。子どもの学年では1年生と6年生で“感じる”の割合が高くなっている。

子育てに関して不安感や負担感を感じることもあるかたずねたところ、「非常に不安や負担を感じる」(11.3%)と「何となく不安や負担を感じる」(36.0%)を合わせた“感じる”が46.8%、「あまり不安や負担は感じない」(38.5%)と「まったく感じない」(5.0%)を合わせた“感じない”が41.4%となっている。なお、「なんともいえない」は7.8%となっている。

居住地区でみると、山部と麓郷では“感じる”の割合が他の地区と比べて低くなっている。

学年でみると、2年生から4年生までは“感じる”がいずれも4割から4割強となっているのに対し、1年生では5割、6年生では6割弱となっている。

図表 子育てに関して不安感や負担感を感じることもあるか



(3) 子どもを育てていく上での困りごと

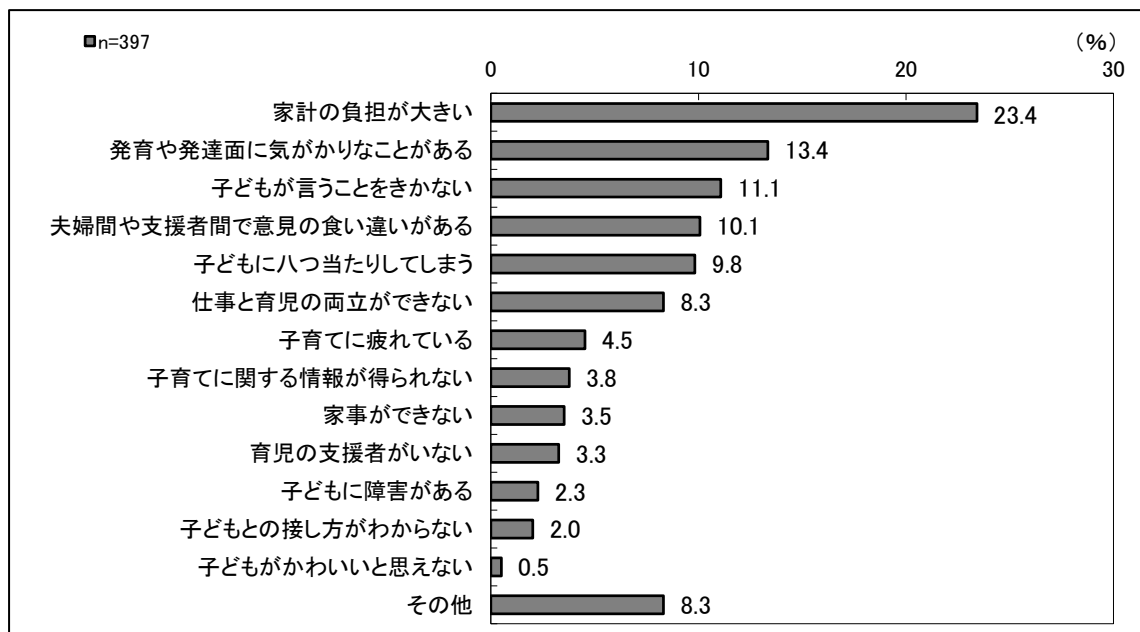
問 13 宛名のお子さんを育てていく上での困りごとはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 「家計の負担が大きい」が第1位。子どもの学年で見ると、1年生と4年生以上では「家計の負担が大きい」が第1位となっているのに対し、2年生、3年生では「発育や発達面に気がかりなことがある」が第1位となっている。

子どもを育てていく上での困りごとについては、「家計の負担が大きい」(23.4%)が最も多く、次いで「発育や発達面に気がかりなことがある」(13.4%)、「子どもが言うことをきかない」(11.1%)、「夫婦間や支援者間で意見の食い違いがある」(10.1%)、「子どもに八つ当たりしてしまう」(9.8%)、「仕事と育児の両立ができない」(8.3%)、「子育てに疲れている」(4.5%)、「子育てに関する情報が得られない」(3.8%)、「家事ができない」(3.5%)、「育児の支援者がいない」(3.3%)、「子どもに障害がある」(2.3%)、「子どもとの接し方がわからない」(2.0%)、「子どもがかawaiiと思えない」(0.5%)、「その他」(8.3%)となっている。

学年で見ると、1年生と4年生以上では「家計の負担が大きい」が第1位となっているのに対し、2年生と3年生では「発育や発達面に気がかりなことがある」が第1位となっている。

図表 子どもを育てていく上での困りごと (全体/複数回答)



図表 子どもを育てていく上での困りごと
 (全体・学年—上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		家計の負担が大きい 23.4	発育や発達面に気がか りなことがある 13.4	子どもが言うことをき かない 11.1
学 年	1年生	家計の負担が大きい 24.0	子育てに疲れている／仕事と育児の両立がで きない／発育や発達面に気がかりなことがある 14.0	
	2年生	発育や発達面に気がか りなことがある 19.7	子どもに八つ当たりし てしまう 18.0	子どもが言うことをき かない 11.5
	3年生	発育や発達面に気がか りなことがある 19.1	家計の負担が大きい 17.0	仕事と育児の両立がで きない 14.9
	4年生	家計の負担が大きい 24.3	発育や発達面に気がか りなことがある 12.2	夫婦間や支援者間で意 見の食い違いがある／ 子どもが言うことをき かない 10.8
	5年生	家計の負担が大きい 31.3	子どもが言うことをき かない 13.3	夫婦間や支援者間で意 見の食い違いがある 9.6
	6年生	家計の負担が大きい 30.0	発育や発達面に気がか りなことがある 11.3	夫婦間や支援者間で意 見の食い違いがある／ 子どもが言うことをき かない 10.0

(4) 子育ての環境や支援への満足度

問 14 富良野市における子育ての環境や支援への満足度についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

- “不満”が4割強、“満足”が2割弱を占める。子どもの学年で見ると、若いほど“不満”の割合が高くなる傾向がうかがえる。

子育ての環境や支援への満足度については、「たいへん満足」(1.8%)と「やや満足」(15.9%)を合わせた“満足”が17.7%、「やや不満」(31.0%)と「たいへん不満」(11.1%)を合わせた“不満”が42.1%となっている。「どちらともいえない」は39.5%となっている。

学年で見ると、子どもの年齢が若いほど“不満”の割合が高くなる傾向がうかがえる。2年生では“満足”が3割弱を占めている。

図表 子育ての環境や支援への満足度

